

グリーン四国

No.1164
2017年
3月号

特集

平成28年度国有林モニター会議を開催

2月24日、平成28年度国有林モニター会議を開催しました。



目次

- ・特集 平成28年度国有林モニター会議を開催 2
- ・一ツ橋小学校で森林教室 3
- ・各地のたより 4
- ・発表者と聴講者がつながり、振り返るープレゼントシートー 8



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
HP <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

特集

平成28年度 国有林モニター会議を開催

2月24日、四国森林管理局において、平成28年度国有林モニター会議を開催しました。

国有林モニターの取組は、「国民の森林」としての国有林の管理経営を推進するため、国民の皆様から幅広い意見や要望等を伺うもので、本年度は四国在住の25名の方に御願いました。



局長開催挨拶



意見交換 1

今回の会議には、四国4県から13名の国有林モニターの方が出席し、毎月、当局から送付する資料や2回の現地勉強会を通じて、国有林への評価と期待等について、積極的な意見交換が行われました。

(主な意見等)

○ 国有林が治山もやっているのに驚かされた、材木だけではなく、

擁壁（ようへき）やダムもやらないと森林が維持出来ないのだなど感じた。

○ 屋島の国有林の木の枝が道路に出て車に当たっているが、除けていいのか解らない、窓口を一つにして欲しい。

○ シカの防護柵の見回りにドローンを活用しているのは先進的だなと感じた。

○ 民有林において地積調査が進んでいないので、山の境界が決まらない、そのために林業に関心が持てないのではないか。

○ 愛媛のミカンやアケボノツツジなどシカやイノシシの被害が各地で起きている、捕殺した肉の保存や流通を考えるべきでは。

○ シカの食害対応は捕殺だけではなく、人間も自然の一部、共存は出来ないか。



意見交換 2

○ 森林ガイドの勉強をしているが、森林環境教育で子ども達には工作も好評なので取り入れてはどうか。

○ モニターに参加して始めて国有林を知ったので、国民へのアピールがもっと必要ではないか。

○ バイオマス発電をやりたい人がいるが、無理だった。何とか出来ないか。

この会議でいただいた貴重な意見については、これからの四国森林管理局の管理経営業務に活かしていきます。

一ツ橋小学校で 森林教室

2月10日、高知市立一ツ橋小学校から、参観日兼ねた学年行事として依頼を受け、森林・木工教室を行いました。

この学校では、2年前にも森林教室を行っており、当時は、3年生だった児童たちも5年生となり、授業では森林・林業についての勉強も終えたばかりとあって、森林の働きについてのクイズをはじめ、「木の浮沈実験」や「水の浸透実験」を含めた森林教室も、皆が大変興味深そうに聞いてくれ、復習も兼ねた内容でしたが、より一層、森林に対して関心を持ち、理解を深めてもらえたようでした。

木工教室は、彫刻刀を使ったことがあるということで、竹を鋸で切り、小刀で木を削る作業に挑戦してもらいました。大半の児童が鋸や小刀を使うのが初めてということで、ロタに「緊張する」と言っていました。皆が怪我をすることなく、作品も非常に丁寧に仕上げられて「かわい

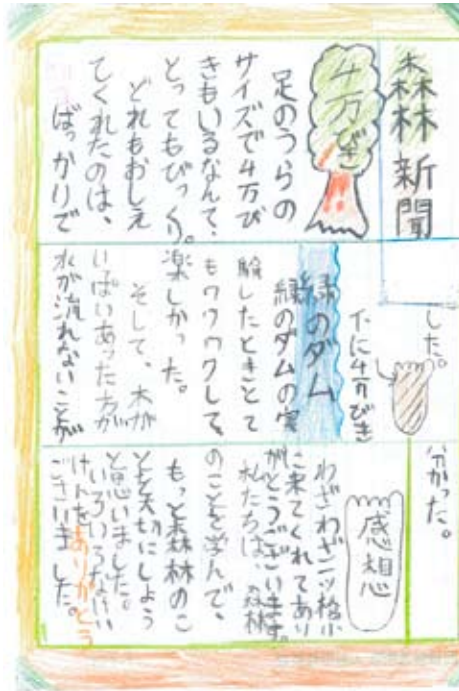
い、もっと、森林を身近に感じてもらいたい。という挨拶で教室を終らしたい。という挨拶で教室を終らしました。後日、児童からは、「高知県が森林率全国1位とは知らなかった。」「森林のある土とない土では、ある

らいた。と

らいた。と



エンピツ立て製作中1

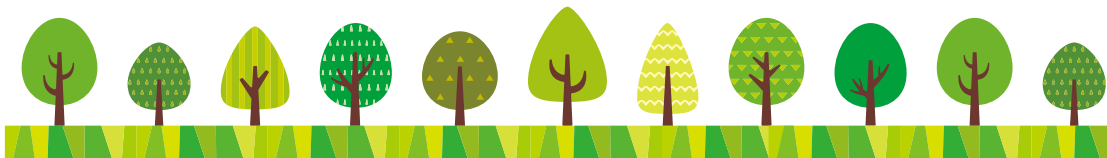


エンピツ立て製作中2



土の方が土砂崩れを防いでくれることに驚いた。」などの感想を寄せてくれ、どれも森林を大切に思う気持ちが伝わってくる内容でした。

〈技術普及課〉



各地のたより



三校で木工クラフト学習

2月3日に大月町立大月小学校で2年生30名、2月9日に松野町立松野南小学校の2〜5年生計6名、2月22日には宿毛市立橋上小学校の1〜2年生9名を対象に木工クラフト学習を行いました。

三校では、最初に紙芝居「森」のお話で木や森林の大切さを知ってもらいました。

次に、大月小学校と橋上小学校では、桃の節句も近いことから、「ひなまつりにちなんだ置物づくり」をしました。先に作り方を説明して、お内裏様とお雛様飾りのセットに切り抜いたスギ板のパーツに児童達が見本を参考に自由に色ぬりをし、ポンドでヒノキの台座に貼り付けて作品が完成しました。なお、大月小学校には地元のケーブルテレビがこの様子を取材に来てくれ、その放送を見た橋上小学校より当校でも是非実

施してほしいとの依頼を受けて行ったものです。

また、松野南小学校では、この1年間にお世話になった地域の方々に感謝する「ありがとう集会」で、お礼のプレゼントとして贈呈するスノコの作製、また、自分用には愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」のストラップを製作しました。

各学校の児童達は、夢中になって製作し、それぞれの作品を完成させました。

最後に、児童達から感想の発表があり、「紙芝居を見て木や森林の大切さがわかりました。」「作ったお雛様は家族に見せて家の玄関に飾ります。」「嬉しそうに話してくれました。」

今回の木工クラフト製作を通じ、鉄とは違う木の持つ温もりや素材としての木材の良さを身近に感じてもらえたと思います。

〈四万十川ふれあい推進センター〉

各地のたより 目次

三校で木工クラフト学習

「身近な材料を使って簡易な方法での炭焼きを体験」

情報交換会等を開催

森林環境教育学習の一環としての記念植樹等について

国有林と香川県の治山担当者合同で治山技術に係る現地検討会を開催



大月小学校、紙芝居「森」のお話自動版を聞く児童の様子



松野南小学校のありがとう集会で、お世話になった地域の方々に、児童がスノコのプレゼントをしている様子



橋上小学校、お内裏様とお雛様飾り完成したよ

「身近な材料を使って簡易な方法での炭焼きを体験」

2月15日に宿毛市立小筑紫小学校の5年生10名を対象にした今年度第5回目の森林環境教育として炭焼き体験を実施しました。

はじめに、炭の種類や利用方法、炭の特性について説明しました。

続いて炭焼き体験です。児童達は職員から手順や注意点を聞き、ブリキ缶の中にもみ殻とマツボックリやドラングリ、折り鶴など自分達で作った物を詰めてドラム缶のたき火の中へ並べました。そして、アルミホイ

ルに包んだイモが炭になるかどうかも合わせて実験しました。

炭になるまでの待ち時間で色々な炭の実物を観察させて、白炭と黒炭を使った実験をしました。ノコギリを使つての切断では黒炭は簡単に切れたのに、白炭は堅くて切断することはできませんでした。

また、白炭の備長炭を木のバチで叩くと「チンチン」と鉄琴のような綺麗な金属音がして児童達や先生も驚いていました。

約30分経つて、たき火の中からブリキ缶取り出します。冷めるのを待つ間にアルミホイルを開けると、イモは皮の表面だけが黒く焼け、残念ながら炭にはならず実験は失敗で



炭のお話の様子

白炭と黒炭の観察・実験の様子、備長炭はどんな音がするのか



炭焼き体験の様子、ちゃんと炭になつていけるかな、楽しみだなあ



「焼き芋」となつてしまいました。冷えた缶を開けると折り鶴やドンぐリ、マツボックリなどは実験成功でちゃんと「炭」になつていました。

体験終了後児童達より、「今までの森林学習を通して、森林の大切さ、自然の大切さ等がよくわかりました。」「燃焼や炭化など教科書で習ったことを実験や体験を通して学習することが出来たので理解に繋がりました。」とお礼の挨拶がありました。

当所としてもこれらの年間活動を通して、森林の大切さや木材利用についての理解を深めてもらえたものと考えます。

〈四万十川ふれあい推進センター〉

森林経営計画

情報交換会を開催

2月21日、松山市内のホテルにおいて、平成28年度森林経営計画情報交換会（四国ブロック）が開催されました。

この情報交換会は、林野庁補助事業の「森林施業プランナー育成対策事業」の一環として全森連が受託し、毎年全国の各ブロックにおいて実施されているものです。

当日は四国4県から県・市町村担当者や森林組合・民間事業者職員、

現地調査の様子



四国局から局署の担当者のほか、林野庁から造林間伐対策室の関口室長、計画課の城課長補佐、四国局から田口森林整備部長等も出席されました。

交換会の第1部では情報提供として、林野庁の関口室長より森林整備事業の動向について、城課長補佐より森林吸収源対策と29年度地方財政措置の取組について説明があり、四国局森林整備課の堀係長より四国局における一貫作業システムについて説明がありました。

第2部の事例紹介では、愛媛県や愛媛県森連等の担当者より森林経営計画の進捗状況や優良事例等の報告がありました。

参加者からは、質問や意見も出さ

れ有意義な情報交換会となりました。
また、22日は局署関係者で愛媛県内にあるムカイランバーと八幡浜官材協同組合の大型製材工場、国有林材の委託販売を実施している大木坑木と日吉原木市場において現地調査を行いました。

〈愛媛森林管理署〉

森林環境教育学習の一環としての記念植樹等について

3月3日、谷相山国有林三林班(分収造林地跡地)において、「森林環境教育の一環としての植樹」として香美市立大宮小学校児童達(6年生



苦勞しながらの植穴掘り

参加者全員での記念撮影



25名)が署職員と各班に分かれサクラ(ソメイヨシノ60本)を香北町の観光名所である「大荒の滝」が遠望出来る林道沿いに植樹しました。

署長の挨拶の中で、大荒の滝は2匹の龍が大竜巻に乗って舞い降りたという伝説及び森林は水の供給や二酸化炭素を吸収し酸素を排出する等の重要な機能があることを説明した後、大宮小学校生徒代表の挨拶から始まりました。

次に、作業方法の説明では、森林ふれあい担当者より植樹方法及び二ホンジカ食害防止のための生分解性

ツリープロテクターがトウモロコシで出来ているため自然に帰り、環境に優しいこと等を説明した後、作業に取りかかりました。

生徒の中には鋸を持つことが初めての児童もいて、四苦八苦しながら穴を掘り次々と苗を植え、男子児童の中にはもっと植えたい等のリクエストもあった、有意義のある植樹でした。

閉会式では、署長から8年後には児童が20歳を迎えられ、今回植樹したサクラが綺麗な花を咲かせていると思うので、是非皆で見に来てくださいとの話があり、また児童代表からは今回の植樹は初めての体験で良い経験となった。数年後この場所にサクラの花と滝を見に来たいとの感想とお礼の言葉を頂き終了しました。

〈高知中部森林管理署〉

国有林と香川県の治山担当者と合同で治山技術に係る現地検討会を開催

平成29年2月22日、香川森林管理事務所では、香川県と合同で治山技術に係る現地検討会を開催しました。

当日は、香川所職員、香川県西部および東部林業事務所職員9名が参

加。まず、現在香川県において施工中の工事箇所2箇所と来年度計画箇所2箇所を視察し、それぞれの施工箇所の選定や工法、施工理由等について参加者の考え方を話し合うなど検討した後、実際の計画について県の担当者から概要の説明を受け、意見交換を行いました。

また、国有林の現場では、平成27年7月の台風11号により被害が発生した檜原国有林に移動し、災害時の被災状況や下流域の集落の状況、国有林の職員と香川県の砂防担当職員と連携した現地調査や災害申請の取組等について説明し、情報の共有を行いました。

今回の現地検討会では、同じ現場、同じ目的であっても、多様な計画の立案が可能であり、より経済的かつ効果的な工事を計画するためには、荒廃の状況を的確に把握することはもとより、経験を蓄積し、技術の研磨を図っていくことが更なる治山技術の向上につながることを再認識することができました。

今後このような現地検討会を開催し、災害時における国と県の連携はもとより情報の共有に努め、地域の方々の安全、安心のため、日々取り組んでいきたいと考えています。

〈香川森林管理事務所〉

発表者と聴講者がつながり、振り返る – プレゼントシート –

〈技術普及課〉

1月24日に開催しました「平成28年度四国森林・林業研究発表会」において、聴講された方々に、プレゼントシートを記入して頂きました。(〇)

設問の項目は、「発表のパフォーマンスについて」(態度、声、プレゼンテーションの工夫等)と「取組内容について」記入して頂き、合計124枚が寄せられました。

なお、「取組内容について」各課題ごとに記入して頂いていますので、発表者に届けています。寄せられた「シート」にまなび、今後の発表する機会等の参考として活用してください。

この内、「発表のパフォーマンスについて」主な内容は、以下のとおりです。

(プレゼンテーション)

●良かった点

- ・動画や音響を工夫した内容は、理解しやすい。
- ・視覚的に見せる工夫を凝らしていたので分かりやすかった。
- ・グラフの線の色が分かりやすかった。
- ・イラストがあり分かりやすかった。

●もっと工夫すると良い点、期待する点

- ・写真に、わかりやすい工夫などがあれば、理解しやすかった。
- ・背景の黄色は、見にくかった。
- ・長文は読みづらいので、要点を箇条書き等に。
- ・映し出す字が小さく、読みづらい。

(説明)

●良かった点

- ・声が大きく聴きやすかった。
- ・速さも適切だった。
- ・質問に対する回答も簡潔だった。
- ・発表時に実物や成果品を持参して興味の引き方が良かった。
- ・質問への回答に、事業体の方の意見があり思いが伝わった。

●もっと工夫すると良い点、期待する点

- ・原稿を読み続けることは悪くないが、余裕があれば、聴講者にも目線を向けて欲しい。
- ・専門用語は、分かりやすい言葉でお願いしたい。
- ・パワーポイントを説明する際には、レーザーポイントで示して欲しい。

平成28年度四国森林・林業研究発表会 プレゼントシート

プレゼントシートは発表者と聴講者が“つながり 振り返る”シートです。

📎 発表課題番号を記入してください。

📎 発表者が、このシートを読んで、パフォーマンスの様子や取組み内容を今後
に生かし、より良いものにできるよう、プレゼントをする暖かな気持ちで、
良かった点、アドバイスとして期待する点などの感想をお書きください。

📎 記入者は発表とプレゼントシートを通して気づいた点等を、今後、自分が
発表する立場になり、相手に伝える際の工夫として生かしてください。

📎 プレゼントボックスは受付にあります。
お帰りの際に、シートを投函し、下敷きを返却してください。

発表課題番号：

発表のパフォーマンスについて（態度、声、プレゼンテーションの工夫等）

🎁 良かった点

🎁 アドバイスとして期待する点

取り組み内容について

🎁 良かった点

🎁 アドバイスとして期待する点、感想等

4月の行事・イベント情報

平成29年4月4日(火)

平成29年度新規採用者入庁式

【四国森林管理局】

平成29年4月10日(月)～5月10日(水)

平成28年度森林環境教育の取組状況展示

【森林ふれあい館】

平成29年4月24日(月)～4月28日(金)

平成29年度新規採用者研修

【四国森林管理局】

